

月の輪書林

- 七〇二 頭山満翁写真伝 初美 付録の額面用の 刊行会 昭10 函判二〇〇〇
 七〇三 聯合プレス社 頭山満写真真欠★ 月刊読物雑誌丸 4の2〜7の3不揃21冊一括 昭26 五〇〇〇〇
 ●『丸』のスタッフは当時、いわばトップ屋以前の 雑文家の
 集合体として、当たらぬ作詞作曲家、食うにコト欠く詩人・
 文学者のなりそこない、ジャーナリスト崩れ、流転の編集者、
 戦前の左翼活動家、新聞レッドバジーの犠牲者等々が寄りあ
 つまって、その頃としてはポルテージの高いアンカーや取材
 陣で固めていた。その実力では、数年後に現われた週刊誌の
 トップ屋あたりとは比較にならぬ情熱でスクープや読物記事
 を世に送り、ジャーナリズム界では無視することができぬ雑
 誌だった。斎藤龍鳳という名のとっぴい新米記者がまざり込
 んで来たのは、その頃であった」(丸山邦男)。
- 七〇三 映画芸術 全面特集★斎藤龍鳳の赤裸な生涯ノ 昭46 二〇〇〇
 七〇四 竹中労 左右を越境する 初力帯 鈴木 邦男 平23 二〇〇〇
 アナーキスト★
 七〇五 呉子 初函 竹中労 (伝記) 他 昭38 五〇〇〇
 執筆
 七〇六 我ら大正っ子 初力並 ★森光子 竹中労執筆 昭36 新書 二〇〇〇
 七〇七 〃 ③ 初力並 ★俳 佐藤英夫 竹中労執筆 昭36 新書 三〇〇〇
 放送できない 初力 竹中労 (3分の1) 昭45 新書 三〇〇〇
 テレビの内幕 を執筆す
 七〇八 青春遊泳ノート 竹中労 浅川マキ 嵐山光三郎他 昭48 初力 二〇〇〇
 七〇九 盲滅法★深沢七郎対談集 初力 竹中 労働 昭46 二〇〇〇
 七二〇 天皇制と靖国 初力 竹中 労働 昭51 一、五〇〇
 七二一 深沢七郎★風流夢譚 (地下)★緑表紙本 無刊記 五〇〇〇
 政治少年死す★大江健三郎 (出版) 三島由紀夫 (奥月) 昭45 変型 一〇〇〇〇
 七二三 風流夢譚★天皇裕仁と作家の幸福な死 (宴★) 昭45 縦長 一〇〇〇〇
 七二四 流浪の手記(風流夢譚余話) 初力 深沢 七郎 昭38 新書 二〇〇〇

- 七五 言わなければ ペン献呈署名 深沢 七郎 昭33 初力 一五〇〇
 よかったのに日記
 七六 東京のプリンスたち ★三島帯文★ 初函帯 深沢 七郎 昭34 五〇〇〇
 七七 苜蓿夫人 限定版★発禁本★並本 丸尾 長頭 昭9 初版 一〇〇〇
 七八 残されたもの、 (竹中労他回想) 矢崎 泰久 平26 初力 三〇〇〇
 伝えられたこと
 七九 人生は喜劇だ (★竹中労他回想) 矢崎 泰久 平25 初力 二〇〇〇
 五木寛之
 七〇〇 浮気のレポート 初力 竹中 労働 昭42 新書 五〇〇〇
 七〇一 聞書 庶民烈伝とその時代①②③ 竹中 労働 昭58 初力 一五〇〇
 3冊一括★並本
 七〇二 角柴だけがなぜ悪いのか 初力帯 竹中 労働 昭58 二〇〇〇
 七〇三 法を裁く日弁連山根二郎懲戒処分 竹中労編 昭55 初力 二〇〇〇
 真相を明らかにする抗議書 帯並
 七〇四 私に怒っている 竹中労 水尾十三志村 斎小美昌 昭52 初本 二〇〇〇
 影文吉水木しげる他
 七〇五 芸能の論理 TV文化の 初力 竹中 労働 昭57 二〇〇〇
 虚妄を斬るノ
 七〇六 SEXなんでも ★竹中労 コメント他 昭62 初力 二〇〇〇
 わかるデータブック【改訂版】
 七〇七 【ちくま文庫】琉球共和国 ★竹中 労働 平14 初力 二〇〇〇
 坂手洋二解説
 七〇八 竹中労 没後20年ルポライターの 佐高 信他 平23 初力 二〇〇〇
 ルポライターの 高 信他 平23 初力 二〇〇〇
 七〇九 【ちくま文庫】決定版ルポライ 竹中 労働 平11 初力 二〇〇〇
 ター事始 並本
- 巻末の「竹中労の仕事」(夢幻工房)は読み返す度に発見有。
 ●「肝心の就職先である『毎夕新聞』とは、天下のオピニク新
 聞だったのか、そう、ともあれ局面は変わったのだ、三流で
 であろうとエロだろうと新しい戦場であることには相違はな
 かった。その日から私は、ストリップ劇場通いに奮迅した」。
- (★竹中労執筆「ルポライターの履歴書」より)。
- 七三〇 東京毎夕新聞 昭和28〜30年 5部一括★東京毎夕新聞社 昭28 二〇〇〇〇
 ●竹中労が、腕をふるった時期ではありません。ご注意ください。
 ●湯浴みの図(一面ヌード写真)他。確かにオピニク新聞ノ